

「胎児診断を受けなかった先天性心疾患新生児の PICU 搬送と集中治療管理の検討」

1. 研究の対象

2014年1月1日～2025年8月31日の期間に当院へ搬送された非胎児診断のCHD新生児で初回手術またはカテーテル治療前に小児集中治療室(PICU)へ入室した方

2. 研究目的・方法

重症先天性心疾患(CHD)は胎児期に診断され、集中治療室(ICU)を有する施設での計画分娩と術前管理が望ましい。しかし出生後に診断され、緊急搬送後に集中治療管理を要する症例も存在する。緊急搬送は医療チームの突発的な動員を要し、医療体制に負荷を与える。本研究では、胎児診断されなかったCHD新生児が手術介入を目的にICUを有する施設へ搬送となった症例について、ICU入室後の集中治療戦略を後方視的に解析し、搬送症例特有の課題を明らかにすることを目的とした。

研究期間：承認後～2026年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録を用いた後方視的調査である。

入室時の呼吸・循環状態、薬剤使用、重症度、搬送前の初期治療、PICUでの管理(人工呼吸、プロスタグランジンE1(PGE1)、カテコラミン等)と手術介入時期および内容、転帰

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県仙台市青葉区落合四丁目3番17号

TEL:022-391-5111

研究責任者：

宮城県立こども病院 集中治療科 荒川 貴弘